

市町村合併の検証について

1 趣旨

平成17年4月1日に旧富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村の1市4町2村が対等合併することにより、新富山市が誕生した。

この市町村合併から17年余りが経過し、客観的に検証することが重要であり、合併したこと自体の是非を問うものではなく、検証結果を今後の施策に反映させることで、市民の生活の質を一層向上させることを目的とするものである。

2 市町村合併の背景

新富山市を構成することとなった旧富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村及び細入村は、歴史や文化において古くから深いつながりを持つとともに、経済圏、日常生活圏域が一体となってきた。

一方で、地方分権の進展、少子・高齢化の進行などといった新たな課題に対応するために、行財政基盤の強化、行政能力の向上への早急な対応が求められていた。

(1) 日常生活圏の拡大と広域行政への対応

交通基盤の整備や交通・情報通信手段の飛躍的な発展等によって、住民の日常生活圏や経済活動範囲は、旧市町村の区域を越えて著しく拡大しており、住民の行政ニーズも広域化、多様化、高度化している。

このことから、合併前においても積極的に広域行政に取り組んできたところであるが、より広域的、専門的な課題を総合的に解決する観点から、市町村合併により一体的なまちづくりを推進することが必要となっている。

(2) 地方分権への対応

市町村は、「自己決定」と「自己責任」の理念のもと、住民の多様な行政ニーズに対応し、個性的で活力ある地域づくりに取り組んでいくとともに分権改革により拡大した権限に基づき、主体的に政策を立案し、質・量ともに高度な行政サービスを、より効率的に実行することが求められている。

このため、市町村においては、専門的かつ高度な行政能力と政策実現のための行財政基盤の充実強化が必要となっている。

(3) 本格的な少子・高齢社会への対応

人口の減少や高齢化の進行は、医療や福祉を中心とした市町村の行財政需要を著しく増大させるとともに、少子化の進行により、税収の減少や、コミュニティ機能の低下など様々な問題が懸念される。

このため、市町村においては、行財政基盤を充実強化し、まちづくりを長期的、広域的な視点から考えていくことが必要となっている。

(4) 国・地方を通じた厳しい財政状況

国、地方を通じた財政状況は、極めて厳しい状況となっている。

合併前の各自治体においても、財政の硬直化が進むとともに、地方税収も伸び悩んでおり、今後の新たな行政需要への対応をはじめ、行政サービスの維持・向上を図るためには、より一層の効率的な行財政運営が求められている。

こうしたことを背景に、平成15年4月1日、富山地域合併協議会が発足し、19回の合併協議会開催を経て、平成17年4月1日、富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村及び細入村を廃し、その区域をもって新たに富山市を設置した。

- 平成13年 7月 富山地区広域圏11市町村による「富山地域合併に関する研究会」を設置
- 平成15年 1月 富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村及び細入村の7市町村で「富山地域合併協議会準備会」を発足
- 平成15年 4月 「富山地域合併協議会」を設置
- 平成16年10月 富山市、大沢野町、大山町、八尾町、山田村、細入村が6市町村議会において、合併議案を議決
- 平成16年11月 婦中町において、合併議案を町長により専決処分
(12月定例会において専決処分承認)
- 平成17年 4月 新「富山市」誕生

	人口 (H16.3)	面積 (H16.3)	予算規模 (H16 一般会計)	富山市
富山市	324,997 人	208.81 km ²	約 1,248 億円	人口 (R4.3) 410,214 人 R4 当初予算 1,679 億円
大沢野町	23,033 人	74.66 km ²	約 83 億円	
大山町	11,736 人	572.32 km ²	約 59 億円	
八尾町	22,581 人	236.86 km ²	117 億円	
婦中町	35,789 人	68.04 km ²	124 億円	
山田村	1,904 人	40.92 km ²	25 億円	
細入村	1,850 人	40.24 km ²	17 億円	
計	421,890 人	1,241.85 km ²	約 1,673 億円	

3 検証方法

令和3年度、各部局の部次長で構成する市町村合併検証チームを編成し、事務局（企画調整課）を中心に検証に係る資料収集を行った。

令和4年度、有識者や各地域の代表により構成される富山市市町村合併検証委員会や市民意識調査を通じて、合併検証報告書を作成する。

4 検証項目（案）

- ・ 人口の推移
- ・ 財政運営の状況
【普通会計歳入歳出決算額・各種財政指標の推移・基金残高・市債残高など】
- ・ 行政基盤の状況
【職員数・議員定数・組織機構の推移など】
- ・ 新市建設計画の進捗状況
- ・ 事務事業の再編状況
- ・ 地域審議会の開催状況
- ・ 各種公共料金の推移
- ・ 行政サービスの拡充や縮小

5 スケジュール（予定）

5月27日（金）	第1回富山市市町村合併検証委員会（諮問、合併検証趣旨）
7月下旬	第2回富山市市町村合併検証委員会
8月～9月	市民意識調査
10月	第3回富山市市町村合併検証委員会（合併検証報告書案）
12月	第4回富山市市町村合併検証委員会（合併検証報告書最終案）
1月	答申